

防火標語

お出かけは
マスク戸締り
火の用心



発行所
公益財団法人長野県消防協会
(長野県庁西庁舎)

〒380-8570
長野市大字南長野字幅下 692-2
TEL (026) 232-5319

編集発行人
上 條 博 文

長野県消防協会 <http://naganoken-syouboukyoukai.com/>

会長就任あいさつ

上 條 博文



公益財団法人長野県消防協会長

向暑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より長野県消防協会の事業運営にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

また、県下3万余名の消防団員の皆様には、生業のかたわら、新型コロナウイルスの感染防止対策や健康管理に配慮しながらの団活動、各種訓練に取り組まれていることに心から敬意を表します。

この度、令和4年6月10日の理事会において公益財団法人長野県消防協会長に選任されまして上條博文です。就任に当たり一言ごあいさつを申し上げます。

近年、県内でも災害、特に水害が多発し、大規模化しています。地域に密着して、住民の生命、財産を守り、郷土を守る消防団の重要性は益々高まっています。一方で、待遇の改善や平常時の訓練のあり方、団活動の周知や団員の募集など課題も多くなっております。

このような難しい時期ではありますが、県下消防団員のため、県協会事業に全力で取り組んでまいります。

そしてもう一つ取り組みたい案件があります。それは県内全市町村による消防団広域相互応援協定のような体制が必要に感じております。理由は台風19号の際甚大な被害が発生しました。その時松本市消防団として、特に被害が大きかった長野穂保地区で復旧のボランティア活動を行おうと団員を募りましたところ、一部の団員から団長の考えで行くのか、又公務として行くのかと問われました。出勤依頼がないので仕方なくその時はボランティアとして募り、120名程で活動してきました。被災地は津波がきたような有様で、家屋の床下の泥の搬出や流出物の撤去搬出などを行いました。しかし活動時間の制約があり5時間ほどで終了になってしまいました。その活動中、当時の長野市高木団長が泥まみれの姿でお礼の挨拶に来られました。団長も又地元団員も自らの復旧活動もしながら消防団活動をしていることを聞き胸が締め付けられる思いでした。

長野県市町村の災害協定もございいますが今回は役所職員だけが応援に出動しただけでした。この県協会で各団が繋がっております。県内の協会単位で、長

期的に毎週交代をしながら支援していたら復旧がより早まったと思います。

現在消防団員の減少が著しい中、大規模災害の対応にはマンパワーが必要になってきます。其のためにも消防団どうしが一体となり、被災地の団長から、公的な支援依頼を気兼ねなくできる体制があればと思います。現時点では私だけの思いです。で、今後可能であれば皆様と協議していければと思います。

もう一点加えさせていただきます。消防団員が様々な活動、出動をしても「警察・消防」というくくりで報道されることが多いと感じます。地域や報道の皆

消防関係者
春の叙勲

県内から5名の方々が受章の栄に浴されました。

(敬称略・五十音順)

瑞宝単光章

(元)長野市消防団分団長

牛沢 徳雄

(元)木曽町消防団副団長

鈴木 悟

(前)長野市消防団長

中村 庄市

(元)小谷村消防団長

松沢 彰一

(元)佐久市消防団長

山崎 敦雄

知事表彰

消防功労者知事表彰は次の11名が表彰されました。

(敬称略・五十音順)

(元)松本市消防団副団長

上條 裕幸

(元)富士見町消防団長

久保井 淳

下諏訪町消防団分団長

武居 和彦

(前)松本市消防団分団長

永野 悟

須坂市消防団長

中村 公彦

松本市消防団副団長

宮坂 明直

岡谷市消防団分団長

宮坂 芳則

(元)上松町消防団長

山田 弘

(前)松本市消防団分団長

吉江 速人

(前)塩尻市消防団長

米窪 潤司

(前)上田地域防火協会会長

齊藤重一郎

様には「消防団」が活動していること、消防団の大切さを分かっていたため、特に幹部の皆様には「消防団活動」を周知いたしたいと思っています。

結びになりますが、理事、監事並びに消防関係者の皆様のご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

長野県消防協会の新しい体制

令和4年6月10日付

評議員

役員



評議員
田中 敏勝
(元須坂市消防団長)



評議員
倉科 広三
(前池田町消防団長)



評議員
藤森 芳樹
(元諏訪市消防団長)



評議員
河西 満正
(元長和町消防団長)



評議員
五十嵐 幸男
(県消防協会参与会長)



副会長
笹川 政義
(木祖村消防団長)



副会長
松木 道夫
(長野市消防団長)



副会長
日下部 良也
(伊那市消防団長)



副会長
福澤 賢治
(上田市消防団長)



会長
上條 博文
(松本市消防団長)



理事
竹入 英城
(辰野町消防団長)



理事
小松 良成
(原村消防団長)



理事
黒澤 薫
(長和町消防団長)



理事
関 俊之
(立科町消防団長)



理事
永井 豪
(佐久穂町消防団長)



常務理事
柳沢 剛
(長野県危機管理部消防課長)



理事
中村 公彦
(須坂市消防団長)



理事
岡田 正
(千曲市消防団長)



理事
平出 誠二
(大町市消防団長)



理事
二木 弘
(安曇野市消防団長)



理事
田近 哲也
(王滝村消防団長)



理事
坂巻 剛弘
(飯田市消防団長)



監事
青木 弘
(県市長会事務局長)



監事
宮下 喜幸
(坂城町消防団長)



監事
菅沼 祐介
(豊丘村消防団長)



理事
出澤 重樹
(飯山市消防団長)



理事
豊田 恵佐学
(信濃町消防団長)

第1回理事会

令和4年度第1回理事会を5月17日（火）に長野市内で開催しました。会議に先立ち、県危機管理部の前沢直隆部長からあいさつをいただきました。議事では、令和3年度の事業報告及び決算の承認等について審議され、いずれも原案通り承認されました。なお、事業報告及び決算は、5月10日（火）、中村靖監事、中村収監事及び平出誠二監事により監査をいただいております。理事会では中村収監事から適正処理との報告をいただきました。

協議事項では、今年度計画している長野県消防ポンプ

操作大会・消防ラッパ吹奏大会の実施要綱を決定。また、10月開催予定の県団長、事務担当者研修大会や女性消防団員活性化会議の要領も承認されました。



第1回理事会

消防庁地域活動表彰

5月17日（火）の理事会において、令和4年3月に決定した消防庁消防団等地域活動表彰式が行われ、前沢直隆県危機管理部長から塩尻市消防団前団長の米窪潤司理事、小川村消防団の久保田和司団長に表彰状が授与されました。



消防庁地域活動表彰

定時評議員会

令和4年度定時評議員会を6月10日（金）に長野市内で開催しました。第1回理事会で承認された令和3年度事業報告の後、歳入歳出決算書が、平出監事から監査結果の報告の後、原案通り議決されました。次に任期満了に伴い新しい理事及び監事が選任されました。

第2回理事会

定時評議員会の同日、新しい理事による改選後初の理事会（令和4年度第2回）が開催されました。会議冒頭、来賓とし

て阿部守一知事に御出席いただき、祝辞をいただきました。

会議では、正副会長の選任が行われました。

また、参与に、武井郁郎前会長が推薦されました。

理事会後、正副会長会議、専門委員会の全体会及び分科会が行われ、全理事及び監事が総務、教養、福利厚生各専門委員会に出席。今年度の事業内容について協議されました。

ラッパ講習会開催

4月23日（土）、県消防学校でラッパ講習会を開催しました。41市町村から45名の消防団員が参加。新型コロナウイルス感染防止による中止を経て、2年ぶりの開催となりました。講習会では、今年度から適用となった実施要領を県消防学校小林大亮教授が講義。長野市消防団音楽隊により模範動作を確認し、吹奏も行いました。後半は、消防学校ラッパ科講師田中美貴先生より、音づくりや曲目のポイントなど実践的な講義をいただきました。



ラッパ講習会

知事感謝状交付式

― 退任する正副会長へ ―

6月17日（金）、2年間の長野県消防協会の重責を担われ、在職中に危機管理はじめ県政への発展に寄与された武井郁郎氏（千曲市）、吉澤節夫氏（川上村）、清水敏敏氏（原村）並びに渋谷智義氏（高山村）の4名に阿部守一知事から感謝状が交付されました。



知事感謝状交付式

副団長講習会開催

消防団活動の指導的な立場で職責を担う副団長を対象に、令和4年6月11日（土）、副団長講習会を長野市の長野県消防学校で開催しました。

東北信の午前と中南信の午後に分かれた講習に、63市町村から87名が参加。県消防課、県消防学校の講義や災害現場を想定してのドローンの実演を視察しました。



副団長講習会

退任あいさつ

退任された、正副会長に退任のあいさつを寄稿していただきました。



前長野県
消防協会長
武井 郁郎

退任にあたり挨拶申し上げます。
長野県消防協会役員の皆様をはじめ消防関係の皆様にはこれまでの協会運営にご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。

令和2年の就任以来「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」に基づき、安心安全な郷土を作るためより安全で確実なものになるように掲げてまいりました。

しかしコロナ感染拡大に伴いあらゆる行動が制限され、ポンプ操法大会や出初式、消防訓練、会議等の活動が中止や延期となり、士気の高揚、技術の向上を目標とする県協会に於いては先の見えない状況が続いておりました。

そんな中、3回目のワクチン接種が終わり僅かではありますが明るい兆しが見えてきたことは本当に喜ばしく思います。

長野県77団それぞれの地域、環境によって課題の違いはありますが、消防精神に基づき住民の安心安全のため今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。退任のご挨拶といたします。



前副会長
吉澤 節夫

令和2年に長野県消防協会の副会長を拝命して以来2年間、会長をはじめ県協合理事の皆様、関係者の皆様には大変お世話になりました。

この2年間は、新型コロナウイルスのまん延により、社会生活が一変し、操法大会の中止など、消防団活動も制限せざる得ない状況が続きました。

一方で、近年、大規模な災害が日本各地で頻繁に発生し、その度に尊い人命が失われています。災害に備えるために必要な訓練ができないもどかしさを感じ、悩んだ2年間でもございました。

こうした中、同じ思いをされる県内の各市町村の団長の皆様と今後の消防団のあり方について、前向きな意見交換をできたことは、大変有意義であったと感じております。

今後も、団員数の減少など、消防団を取り巻く状況は、引き続き厳しいものがありますが、県消防協会を中心に、それぞれの課題に取り組んでいっていただければと存じます。

最後になりますが、長野県消防協会と、県内各地で活躍されている消防団員の皆様、またその団員を支えているご家族の皆様の健康とご多幸をお祈りし、退任の挨拶といたします。



前副会長
清水 昌敏

長野県は一つ

4年前の県消防協会混乱の影響を受けるなか、令和2年より武井会長のご指導のもと副会長として2年間お世話になりました清水昌敏であります。

就任早々ぐしゃぐしゃした雰囲気のなか、正副会長会議の事を今でも忘れられません。初対面ということもあり緊張するなか、会議終了後の初懇親会の折、自己紹介で思わず言葉に出たのが、「長野県は一つ」よろしくお願い致しますと言ったこと。それからの会議は県をまとめるための有意義な場になった気がしております。

コロナ禍でほとんどの行事ができない中、消防団員一人一人のモチベーションを保つためにはどうしたらいいのか、各団の自主性を尊重するなか各地区協会の意見を汲み取り、県全体としての方向性を出せた事、嬉しく思っております。

武井会長、上條・吉澤・渋谷副会長、各協会長様、素晴らしい方々に出会え大変幸せであり、心から感謝申し上げます。

これからの長野県消防協会の発展をお祈りし、退任のご挨拶といたします。



前副会長
渋谷 智義

この2年間県消防協合理事の皆さん消防関係の皆様には大変お世話になり、このたび長野県消防協会副会長の任期を終えることになりました。県消防協会の副会長に任命された大変な重責ではありましたが微力ながらその職務を全うできたこと、またこの職務を通じてたくさんの方々との交流、消防防災などの見聞ができ大変貴重な経験をさせていただき、皆様には心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、消防団活動が思うようにできず各消防団でも試行錯誤して今後の消防団活動を行っていかなくてはなりません。地域の安全と安心を守るために活動する消防団の重要性は今後も高まっています。

コロナ禍の中、感染予防に十分注意して有事の際に備え消防団活動にあたってほしいと思います。これからの消防団、団員の皆様のご活躍をお祈り申し上げます。

